

きほく人奮闘記



鬼北フェザンツ

少年軟式野球チーム「鬼北フェザンツ」。一致団結してスポーツを行い、優秀な成果を収めた団体に贈られる「愛媛県スポーツ少年団表彰」を受賞しました。五島暁監督は、「審判・グラウンド整備に汗を流してくださるお父さん、どろどろになったユニフォームをきれいに洗濯してくださるお母さんなど、周りの皆さんの協力があってこそこの受賞」と、感慨深そうに話します。

五島監督の「習うより慣れる」のモットーで、実践練習をメインに練習に励んでいる鬼北フェザンツ。選手たちの出身校はさまざまですが、お互いに切磋琢磨しながら技術を磨き、心身ともに成長してきました。そして、今年行

われた「土佐清水ライオンズ杯少年野球大会(4年生以下)」では、南宇和郡との合同チームで見事優勝を果たし、チームを活気づけました。

中高生のOB選手もよく練習に参加している鬼北フェザンツ。ともに汗を流し、ときに指導者となって後輩にアドバイスをするなど、OB選手はチームにとって偉大な存在です。4月から中学生になる高田貞治くんは「野球を通して仲間と戦うことの楽しさ、信じて頑張ることの大切さ、そして先輩からはテクニックを教わった。中学生になったら、

OB選手にしてもらったことを、次は自分が後輩に恩返ししていきたい」と嬉しそうに話していました。

「勝ち負けにこだわらず、まずは楽しんで野球をすることが大切」と話す五島監督。キャプテンの三好啓太くんは「野球は楽しいことばかり」、また、紅一点の佐々木花菜ちゃんは「優しい仲間たちと野球できることが楽しい」と、このチームの持ち味である「和気あいあいとした雰囲気」の中でのびのびと野球ができることの楽しさを感じています。五島監督は「1人でも多くの野球好きな子どもたちとプレーしたい。興味のある方はぜひ遊びに来てください」と、その魅力をPRしていました。

鬼王丸 ほのぼの日記

作 梶形 浩人
絵 にのみや なつみ



人口と 2/28 現在

世帯数

人口	10,347人
男性	4,830人
女性	5,517人
世帯数	5,045世帯
※外国人住民を含みます。	

編集後記
▼取材先へお伺いすると「広報読みました」や「いつも頑張ってますね」などと嬉しいお言葉をいただくことがありますが、毎月広報誌を作ることができているのは町民の皆さんのご協力があってこそです。心からお礼申し上げます。(悠)

お詫びと訂正

広報きほく3月号に誤りがありました。お詫びの上、訂正します。
P14 ひよし川柳会 山本雅之氏の句

(誤)匿名で 福祉へ贈る 生き佛

(正)匿名で 福祉へ贈る 生き佛